

そこで私の研究は、魚類の卵黄成分の前駆体であるVgの合成および分子統合にカルシウムイオンがどのように関わっているのかを明らかにする研究の一環として行っています。用いた魚は、北海道の水産重要種であるニジマスを用いました。ニジマスから肝臓を酸素（コラゲナーゼ）を用い分離し、培養を行いました。

培養した肝細胞にカルシウム濃度を変えたり、カルシウムの細胞への取り組みを抑制したり、もしくは促進させたりし、Vg合成に及ぼす影響を調べています。また、カルシウムを測定するために放射能を用いる実験も行っています。

今までの結果は、Vgの合成は細胞外カルシウムの濃度依存的に増加すると共に、細胞内貯蔵カルシウムがその合成段階に関わっていることが分かりました。このことは、魚の生殖期においてカルシウムイオンは卵黄の形成に卵へのVgの取り込み以外でも最初の合成段階においても大きい役割を果たしていることであると思われます。今後はさらに詳しく調べ、卵の形成におけるカルシウムイオンの役割を明らかにして行く予定であります。

◎ 出席報告

会 員 数	69名	出 席 率	函 館 北	10月30日	89.39%
出 席	44名		函 館 東	10月29日	93.68%
欠 席	25名		函 館	10月24日	84.07%
他クラブ出席	15名		函館五稜郭	10月25日	100.00%
出席合計	59名		函館亀田	10月28日	89.16%
除 外 者	2名				

次回・11月27日

「 卓 話 」

プログラム

函館青年会議所理事長 成沢 茂氏



The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

ルイス・ビセンテ・ジアイ 1996~97年度 国際ロータリー会長テーマ

築け未来を 一行動力と先見の眼で。

Build the future
with action and vision



11月20日 卓話 橋 明良氏

《第1611回例会》 第21号 11月27日(水)

本日のプログラム

「タイ国をたずねて」

函館青年会議所理事長 成沢 茂氏

★会 長 西尾昌一 ★幹 事 佐々木公和

例会場：函館国際ホテル 〒040 函館市大手町5-10 TEL 23-5151
例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 事務所：函館市大手町5-10 二チロビル3階 23-3870

1996～1997

〈第1610回例会〉第 20 号

11月20日の記録

◎司 会 西尾 昌一 会長 ◎齊 唱 手に手つないで

◎ゲ ス ト 函館税務署長 橘 明良 氏

◎ビジター 函館R.C. 藤中雅信君・澄 信一 君・早川周作君・半田幸一郎君、函館東R.C. 横山俊久君、函館五稜郭R.C. 佐藤雅廣君・野又 肇 君・名取晃一君・山村勝朗君・大日向豊吉君、函館亀田R.C. 加賀谷喜一君・小島悦郎君・鹿野文男君・稲葉直房君

◎会長報告 西尾 昌一 会長

○今日は、特に報告事項はございません。

◎委員会報告

・ローターアクト委員会 阿相 義則 委員長

11月16日(土)と17日(日)の2日間、室蘭プリンスホテルに於いて、国際ロータリー第2510地区ローターアクト年次大会に出席をしてまいりました。当北部ローターアクトがホストで有ります地区協議会の日程が決まりましたのでご報告致します。平成9年6月15日(日)に決定致しましたので、その節は皆様の御協力をお願い申し上げます。

・職業奉仕委員会 齊藤 紀一 会員

前回実施いたしました健康診断の結果が出ましたので、本日配布いたしました、疑問のございます方がおられましたら、私の所へおいで下さい。

◎幹事報告 佐々木 公和 幹事

- 上磯R.C. 認証伝達式が、12月14日(土)に行われますが、本日が登録のメ切りとなっております。登録料は15,000円となっております。
- 台北東北R.C. から会報が届きました。回覧致します。
- 会費未納の方がおられますので、ご確認願います。

◎親睦活動委員会 新谷 順次 委員長

ニコニコBOX投入報告

川村(岡)会員……BOXに協力。

森(秀) 会員……橘 函館税務署長さんを歓迎して。

鈴木 会員……BOXに協力。

西尾 会長……先週欠席のおわび。

谷口 会員……BOXに協力。

三沢 会員……橘 明良 函館税務署長さんを歓迎して。

中川 会員……ポリープがとれました。BOXに協力。

佐々木幹事……先週、先々週、欠席のおわび。

阿相 会員……ローターアクト年次大会出席致しました。

南木 会員……BOXに協力。

小笠原会員…… ”

新谷 会員…… ”

薮下 会員…… ”

◎卓話 「函館税務署余話」 函館税務署長 橘 明良 氏

第一話 啄木と函館税務署

1 啄木の日記との出会い

はこだて財界の厚谷社長が税務署に取材に来訪された時の帰り際に「ところで署長、石川啄木が税務署にアルバイトに来ていたことがある

んだってね。」との発言があり、私は初耳でしたので「そうですか、聞いていませんが調べてみます。」とお答えして、お別れしたわけです。

その後、文学館の啄木コーナーに足を運び、啄木の日記があることが分かりましたが、その日記の閲覧はできないこと、市立図書館に行けば閲覧できることが文学館の職員の方に教えていただき、その足で市立図書館を訪ね目的の「啄木の日記」を閲覧することができました。

啄木全集から日記編を借出し、明治40年の日記の頁を読んでいくうちに函館へ移住することになった経緯と函館での生活が綴られており、その中に函館税務署の名が記述されていました。

「あった！」と胸の中で叫び感激しました。

2 啄木と税務署の関わり

明治40年5月5日に陸奥丸で函館に上陸した啄木が生活費を稼ぐため、苜蓿社同人の世話で商業会議所（商工会議所の前身）に臨時雇に採用され、5月11日から会議所議員選挙有権者台帳を作るため、毎日、税務署に通って営業税納入者の調べを5月31日まで行っていたことが分かった。（幻洋社「啄木と函館」参照）

3 当時の税務署の様子と人物描写

啄木の日記により「税務署の事務室は、天井の高い随分広い立派な室だ。ハイカラな人間が何十人となく、何かコツコツ仕事をしている。十五、六になる顔のよい給仕が1人居て急がしように卓子と卓子の間を往来している。向こうの隅で『給一仕イ』と呼ぶと『ハイ』と答えてそっちへ行く。此方の隅で『給一仕イ』と呼ぶとやはり『ハイ』と答えて此方へ来る。」啄木はこの『給一仕イ』と呼ぶ声が面白いと書いている。

続けて啄木は『給一仕イ』と呼ぶ人達のことを「無い威厳を態(わざ)と有る様に見せる声だ。殺風景な脳の底から、八の字ひげの下を通して目下の者の耳にぴりりと響きをおくる声だ。所謂明治の官人の声だ。この声を絶間なくききながら、自分もまた殺風景な仕事をなすべく筆を取

り上げた。思い切って真面目に敏速に筆を動かす。初めて役所めいた所にはいったのだという感が異様に自分の心をくすぐる。」と記述している。

当日、啄木は昼食もとらずに二時までやって300枚許り書いたとあります。

4 税務署へ通った感想

日記より「毎日税務署へ通って、営業納税入者の調べを行った。これは自分にとっては、誠に別世界の経験で、商業会議所もそうであり、税務署の広き事務所に至っては全てのもが自分の好奇心を動かされないものはなく、自分は、この奇妙な興味のために幸い煩鎖な事務をすらすらうことはなかった。自分の日給は日に60銭である。」と記述している。

5 おわりに

以上、当時の函館税務署の風景がイメージでき、また、職員の様子も分かり、私なりに満足しているところです。啄木と税務署の結びつきはイメージしにくいこともあり、大変面白かった。それにしても、啄木の人物描写は辛らつであると思いました。

第二話 池田勇人と函館税務署

昭和2年7月、後に総理大臣になられた池田勇人さんが弱冠27歳で函館税務署長として着任した。

当時、船見町の署長官舎に住んでいて、同年11月に広沢直子さんと結婚し、新婚生活を函館で過ごされた。官舎には、お手伝いさんが居り、幸せな生活を営まれていたようです。

昭和4年12月、栃木県宇都宮税務署長で転任された。（翌年、全身が吹出物におそわれ、やがて、そこから膿が吹き出すという病気にとりつかれた。）

お二人の函館での生活の様子はほとんど分からないが、昭和3年1月22

日付の「函館日日(ひび)新聞」に「市内の婦人十色」として、直子夫人が紹介されていた。

直子夫人の函館の感想が次のように掲載されている。

「函館の冬は、どんなに寒いことと思って東京から参りますと案外の暖かさ、ことに冬のこちらの婦人の外出姿を始めて拝見して珍しく感じております。雪の降る夜、薪ストーブを焚きながら雪道の鳴る下駄の音を聞いて雪国の情緒を初めて味わうことが何より嬉しく思いました。」と述べられている。

なお、記事には直子夫人は、ひまひまに洋画を研究し、夫人が描いた「屏風」は官舎にかざられていると補足されていた。

◎ 出席報告

会 員 数	70名	出 席 率	函 館 北	11月6日	86.57%
出 席	41名		函 館 東	11月5日	93.68%
欠 席	29名		函 館	10月31日	84.05%
他クラブ出席	17名		函館五稜郭	11月1日	100.00%
出席合計	58名		函館亀田	11月4日	祝日休会
除 外 者	3名				

次回・12月4日
プログラム

「年次総会」



The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

ルイス・ピセンテ・ジアイ 1996~97年度 国際ロータリー会長テーマ
築け未来を — 行動力と先見の眼で。

Build the future
with action and vision



11月27日 卓話 成澤 茂氏

《第1612回例会》 第22号 12月4日(水)

本日のプログラム

「年次総会」

★会 長 西尾昌一 ★幹 事 佐々木公和

例会場：函館国際ホテル 〒040 函館市大手町5-10 TEL 23-5151
例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 事務所：函館市大手町5-10 二チロビル3階 23-3870